

Hanamaru Monthly Newsletter

花まるたより

3
2023



サマースクールより

- ― 高濱コラム
- ― 2022年度の思い出
- ― レインボータイム
- ― 花まるリビング
- ― 職人の無人島レポート
- ― とある花まるの先生が、わが子の中学受験に直面した
- ― おはなしのキッチン
- ― 平沼純の旅する読書
- ― アノネ Lounge
- ― Rin コラム
- ― タカラモノはここに
- ― 花まるコラム
- ― 花まるファミリー



先月号で書きましたが、もともと長い間友人だった小川哲という作家が、この国の文学賞としては最高峰の賞の一つ「直木賞」を手に入れました。先日、少人数でお祝いの食事をしたんだけど、そのときの雑談が実におもしろかったので、報告するね。

野球の審判の判定に、「ストライクかボールか」というのがあるのは知っているよね。小川さんは、それが昔から疑問で疑問でしかなかったそうです。ストライクとは「打つ」という動詞（動作を表す言葉）なのに、ボールは「球」という名詞（モノや人などを表す言葉）。なぜ違う性質の言葉が使われているんだろう、と。

誰に聞いても答えられないし、どこにも書かれていないので、彼は「野球はそもそもアメリカ発祥のスポーツだ」という理由で、アメリカの本や文献を調べたそうです。すると、ある本に、英語の文章としてちゃんと解説が載っていた。

それはこういう理由です。もともとのおぼろしい時代に、適当に投げてバッターは打ちたい球を打っていた。ところがあるときから、バッターのなかに、いつまでも打とうとせず、相手を疲れさせるために何球も投げさせようとする者たちが出現した。

ストライクとボール、卒業するキミへ

それで、「こんな真ん中に入っているんだから、お前打てよ（ストライクー）」という意味で、ストライクという発声生まれた。ところが今度はピッチャーのなかに、何球も外れるボールを投げて相手が油断したときに真ん中に投げるような汚い作戦を取る者たちが出てきた。それでストライクゾーンから外れるボールに、君が投げたのは、「アンフェアボール（不正な球）」だぞという宣言として「ボール！」という発声生まれた。ざっくりこういう意味です。つまりストライクは「打ちなさい」という動詞の意味だし、ボールは「いまのは悪い球！」という名詞だった、ということです。

どうだろう。おもしろいでしょう。たった一つのエピソードだけれど、ここには、みんなが学ばべきことが、隠されていると思います。ひとかたならぬことを成し遂げる人って、やっぱり普通の人よりずっとすぐ領域のことを集中力を持ってやりきっているんだよね。では、彼の雑談のなかから宝物を発掘してみよう。

1 気づく力
ストライクも、ボールも、聞けばみんな

「知ってるよ」と答える。ところが「なぜ動詞と名詞なんだ？」という気づきを持つ人は、ほとんどいない。長年、教育の世界で仕事をし、経営者として多くの尊敬できる人物を見てきたけれど、この気づく力こそは、ほかの誰にもできない何事かを達成する最初の一步だと感じます。もっと正確に言うと、実は普段の生活のなかで、みんな「ん？」と「瞬違和感を覚えるんだけれど、たいてい「ま、いいか」と流してやがて忘れてしまっただよね。せっかくの気づきという宝石の原石をすぐに放り出してしまふのが凡人、とも言えるかもしれない。

すごいなあと思うのは、2時間ほどの打ち解けた会話のなかに、ストライクとボールの話のようなおもしろい話題が、小川さんの口から次々に出たこと。日々の集積だし、こういう状態を感受性が瑞々しいと言っただろうなと思っただよ。

痛かったのは、彼が、「疑問を持った学生時代、野球部の友達などに片っ端から声をかけたけれど、誰一人、この疑問を持っているいなかったのには心底ガッカリした」と発言したときです。高校で野球部だった私に言われているようで、本当に恥ずかしい気持ちになりました。あなたは、みんなが

新刊情報

『たようせいってなに？』—きみがせかいとつながる絵本①

フェリシティ・ブルックス 著、マール・フェレーロ 絵
高濱 正伸 監修、山北 めぐみ 翻訳（合同出版）



思いやりとやさしさの心をはぐくむ！世界に羽ばたくきみに、知っておいてほしい「たようせい」「ともだち」「きもち」のすべて。シンプルな質問に子どもたち自身が答えられるよう、カラフルなイラストで紹介する絵本シリーズ。第一弾は、「多様性」について。クラスみんなで話し合いたくなる情報が満載です！

『見えない学力が身につく 勉強よりもお手伝い』

糸井 優子 著（セルバ出版）



母親が書いた本というのにもたくさんあるが、その中で『勉強よりもお手伝い』はおもしろかった。日々の子育てに真剣に向き合い考え抜いた、子育ての要諦が「お手伝い」だという。泥くさい子育ての毎日から生まれた、筆者の借り物でない迫力と、真実をよく見る目を感じた1冊。

高濱の本棚

「こんなの当たり前」と思っていることに、も、「本当にそうか?」というも疑いを持って見つめてください。そして、ほんの少しでも「ん?」と感ずることがあったら、メモをしてためておくとういでしょう。

2 調べる力

次にすこいは、外国語の文献を調べてみた行動力。直木賞を取った『地図と拳』という小説は、昭和の世界の歴史を踏まえた作品なんだけれど、小川さんは科目としての歴史は得意ではなかった。けれども、必要となれば調べ尽くすという。「大変だったでしょう」と聞くと、「調べるのは好きなんです、まったく苦にならないです」と言っていました。これは、学べるよね。調べることは、不明だったことが「わかった!」となること。ぜひみんなも、調べるのが大好きな人であってください。

3 英語力

なぜ語学を学ぶのかの、お手本の答えがここにあるよね。外国語の文献を当たらないと理解できないことは、常にたくさん存在する。そういうとき、自由自在に調べられる土台としての英語力があると素晴らしいよね。これからみんなは本格的に英語を学んでいく年齢になるけれど、ぜひ小川さんの事例を忘れないでください。やられるだけでなく物事は苦しいけれど、「私自

身が世界のいろいろなことを知るために、やるんだ」と決意して学びはじめると、定着も違つし楽しいよ。

さらに言うと、「このことは、次代を生きて子どもたちには、ぜひとも身につけてほしい、知っていてほしい」と先輩の大人たちが煎じ詰め選抜したこと、義務教育として学ばせたいくらいに大事なことが、それぞれの授業、特に教科書には詰め込まれている。「テストという他人が作った評価基準で少しでも良い点数を取るために」という姿勢では、おもしろくないし挫折してしまつたろうけれど、「自分のため。自分がこれからの人生で活かすため。全部理解して身につけるぞ」と決意して学べば、本当に素晴らしいことだし、豊かな未来を生きていけるようになるよ。

以上は、一人の人物の、たった一つのエピソード・言葉から抽出した学びですが、世界には、魅力的な大人はたくさんいて、みんながこのような学びをくれるよ。どう? 楽しそうでしょう、これから学べるのとが。

いま、大人の人のなかに、「ここじゃないどこかに転職したいけれど、やりたいことが見つからない」というような可哀そうな人たちがたくさんいるんだ。あなたには、決してそうなるってほしくない。そして、そうならないためにできることはシ

ンプルなことで、「ブームだから」「みんながそういう考えだから」と流されたりせず、「自分の感じたこと・考えたこと・言葉」に、小川さんのようにとことんこだわって毎日を生きていることだろう。

あなたは、コロナ禍という特別な時代を過ごしました。きつと辛かったことや大変な想いもあったでしょう。でも、いつの時代にも素敵な人はいます。そこには愚痴や嘆きや他人との比較はなく、環境にせよ自分の能力にせよ「そこにあるもの」を土台に、最高の人生ゲームを自ら構築しようという態度があるだけだと思います。厳しい時代を過ごしたからこそ、あなたのなかには貴重な経験と想いがあるはず。自分を信じて、一步一步、歩いていってください。人生は本当に楽しいよ!

私も花まるの先生たちも、ずっと味方です。困つたらいつでも相談に乗るからね。卒業おめでとう!

花まる学習会 高濱正伸

再掲

Comiru 使用料は引き続き花まる学習会が負担します!

花まる学習会では、会員保護者のみなさまとより円滑なコミュニケーションを図るため、2022年5月から「Comiru」を試験的に導入いたしました。アプリへのご登録などご協力いただき、誠にありがとうございます。来る2023年4月から正式導入の運びとなりますが、Comiru 使用料は引き続き花まる学習会が全額負担いたします。今後も開発を続け、さらに利便性を高めてまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

花まる学習会

花まるだより 2023年2月号

(令和5年3月5日発行)

編集・発行	株式会社こうゆう
	花まる学習会
発行人	高濱正伸
企画・編集	久慈 菜津紀
編集	金井 彩・清田 奈甫
	坂田 翔・高橋 奈穂
デザイン	春日 梨沙・西野 奈布子
印刷	アーランド株式会社

年末年始

3月末

冬

【関東】

雪国スクール

【中京・関西】

冬の外遊び王国



動画も
みてね！



年度も
ざいました！



5月

【関東・関西】

親子サムライ合戦

申込期間：4/4（火）～4/18（火）19:00

春



伊藤 真衣・まいまい | 織田信長天下取りの出発点の清洲城で有名な、愛知県清須市出身。スイミングと卓球に打ち込み、お母さまの出身高校と同じ高校に、毎日片道7kmの道のりを自転車で通いました。自己分析は耳の人。「人の声」にひとかたならぬ興味があり、「人格は声に表れる」と信じているそうです。



調整中【関東】
親子サムライ合戦

10月【関東】
サバイバルキャンプ **復活!**

秋



詳細は、決まり次第、
野外体験サイトで
お知らせします。
どうぞ楽しみに！

夏

7～8月【関東・中京・関西】
サマースクール

申込期間：4/25（火）～5/12（金）19:00



こん げ っ

今月のレインボータイム

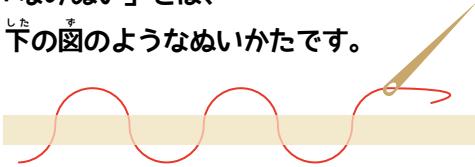
さかた しやう はな がくしやうかい
出題：坂田翔（花まる学習会）

【星のステッチ ～なみぬい～】

かいとう
解答はこちら！



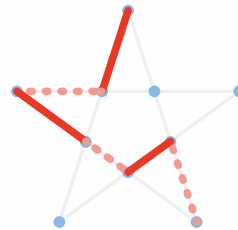
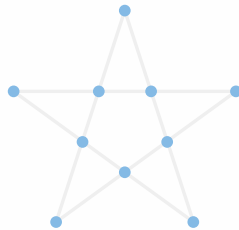
「なみぬい」とは、
した ず
下の図のようなぬいかたです。



うえ み てんせん
上から見ると、点線のような
もようができます。

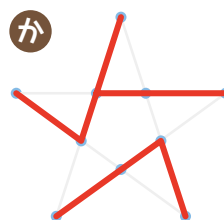
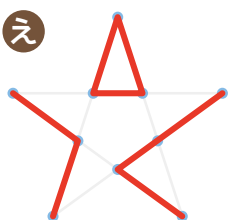
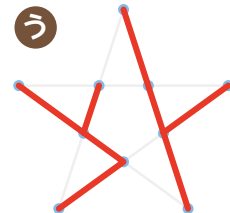
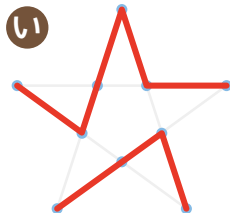
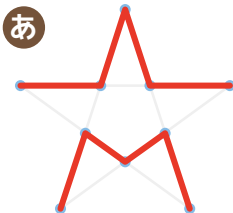


ず ほし せん
図のように、星の線にそって、「なみぬい」で穴に糸を通していきます。



すべてのせんを1回ずつ通ったとき、できるもようはどれでしょうか。

したの あ ～ き のもようの中から、すべてえらびましょう。同じ穴は2回以上通れますが、
おな せん かいとお
同じ線を2回通ってはいけません。どこからスタートしても OK です。





勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、3児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか。



「共感力」——家庭をハッピーにする力

次女の保育園が決まり、春から復職します。いままで一番長く育児を取らせていただけたので、新しい挑戦をしようと思ひ、あるオンライン育児コミュニティに一年ほど所属しました。私はオンラインのコミュニティは初めてだったのですが、同じく子育て中の人たちとつながりが深まっていく感覚はとても新鮮でした。

リアルで会ったこともない人だけれど信頼できる、自己開示できる、そんな関係が築けるのはなぜだろう？と振り返ってみたのですが、一つのキーワードとしてはやはり「共感」です。そのコミュニティの趣旨に共感して集まっているのだから「そっだね」という共感がベースにある。そうすると、自己開示もしやすくなる。お互いに自己開示をすることで、ますますその場所が大切になる。もちろん、人とは違う部分もたくさんあるけれど、それをひっくり返して、認め合える場が醸成されていく——子育てをひとり抱えがちな人こそ、何かしらのコミュニティに出合えるといいんだろうな、と改めて考えさせられました。自分のことを理解してくれる人が増える→エネルギーをもらえる→子育てに必要な、膨大なエネルギーに充てられる、というイメージです。

また子育ての最小単位である「家庭」というコミュニティ。これまで、私にとってそこは、「戦う場所」（子育てに奮闘する、という意味）だったのですが、そこで自己開示してもいい場所なんじゃないかな、とふと気づきました。

ある日、次女がギャン泣きするなかでの電話対応を終え疲弊していた私に、8歳長女が「相手が言っている内容が聞こえないとイライラするよね」と一言。おお！わかってくれる人が家庭にいた、と励まされた気持ちになりました。

また、休日の予定を確認しようとして手帳を開いたときに、私が「やばい！明日までの締切を思い出しちゃった！一緒に書いてあるからなあ」とつぶやくのを聞いた長女が「わかる！私も鉛筆使いたいけど、ランドセルを開けちゃうと宿題のこと思い出すから、別のところから鉛筆持ってきたよ」と。（いや、宿題はやって！）と突っ込みつつ、さりげなく言ってくれた「わかる」の一言が意外なほど嬉しかったのです。家庭でも「共感力」を発揮しあうと、みんなハッピーになれるなあと思つた事例でした。

共感してもらいたければ、自分の本音も素直に話す必要がある。嬉しいは嬉しい、悲しいは悲しい。親として毅然と基準を示すところはぶらさないことと、本音を話すことはきつと両立できるはず。

子どもの共感力を育むための方法の一つは、「本を読む」ことです。いろいろな登場人物に触れ、共感したり、この人は自分とはちがう考えだなと気づいたり。本を通じてたくさん経験を積みませてあげたいと思います。

昨年の3月、この連載で次のように書いていました。

育児書に書いてあることの「一歩先がわからない



『なきむしようちえん』
長崎 源之助 作
西村 繁男 絵
(童心社)

初めての幼稚園で泣いてばかりいるみゆきちゃんが主人公です。子どもの学校や園、習い事への行き渋り…。親としては、ぐっと心のエネルギーを持っていかにしてあげたいよね。「毅然とした基準」と「共感」とどちらの対応も求められる出来事だなぁと思います。この本は「長い目で見守る」ことの大切さを伝えてくれているように感じます。

花まる学習会 勝谷里美

い」というのは、算数で「補助線をここに引く」と解説に書いてあるが、その「補助線の引き方がわからない」という悩みと似ている。「一歩先のあり方は、きつと、『親×子ども×家庭×学校×園×...』といういろいろな要因がからみあって、無数に存在するからこそ、親自身の感性を頼りに選び取っていかなくてはいけない……」

その思いはいまも変わりません。加えて、この一年を通じて、親自身の感性に基づく選択「なんとなく」で終わらせず言語化するために、「実験する（試す）」「発見する」「記録する」「また試す」を淡々と、楽しく、繰り返し、ことが子育ての醍醐味だと気づきました。4月から、ある一家庭の子育ての実践「発見・記録をお伝えさせていただきます。何かしらのお役に立てれば幸いです。

職人の無人島レポート 23

「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。港がある安芸津町に新たな拠点でもでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

新拠点①

朝。目が覚めると「あれ？どこ？」と思ったが自分の家だった。まだ封の切られていないダンボールがあららこちらにある。春秋の箱から服を取り出して着替えると、PCと手帳と財布だけ持って家を出た。駐車場にとめてるのは社用のハイエースである。引越後の片付けが落ち着くまで使わせてもらえることになった。とはいえ、これからここで生活していくには車がいる。何に乗るかなあ、と考えながらキーを回し事務局へ向かう。

いまだ広島には「事務局」というものがなかった。本来、花まるの教室長は毎朝事務局に出動し、会議や事務仕事、授業準備を昼過ぎまで行ってから各教室に出かけていく。しかし、社員がカトパン一人しかいないとなると話は別で、どこかに出勤するよりも自宅ですべての仕事を完結できたほうがかえって都合がよかったのである。だから、広島には事務局がなく、代わりにカトパンの家が自宅兼事務局兼、倉庫になっていた。先月までは。

事務局に着くと、すでにカトパンのジムニーが到着していた。隣にハイエースをとめると、ナンバーが「870」

「6210」と並ぶ。自分もナンバーを考えておなくては。玄関へ向かうと、カトパンが外に出てきて歓迎してくれた。客人としてではなく、同僚として。今日から、新しいチームでの無人島開拓が始まるのだ。

事務局は船を出す港から車で10分ほどの場所にあり、見た目はふつうの家である。ちょうどいい空き家が売りに出されていたのをカトパンが見つけた。敷地には2階建ての母屋、納屋、そして大きな木造の古い倉庫がある。合わせて何と300坪。小学校の体育館くらいはある。一般的な民家の敷地としてはかなり広い。聞くところによると、昔は漁具の製造販売をしていたようで、自宅兼事務所兼、工場のような使い方をしていたらしい。つまりカトパンスタイル。自営業ともいうな。

スタッフが3人なのに、カトパンがこの広い家を選んだのには理由がある。将来的に子どもたちの宿泊施設として利用することを考えたからだ。子どもに限らず、これから島を訪れる人たちが増えていくな、本土にも滞在できる「基地」のような場所があったほうが絶対にいい。「ジヨルノ・ジヨバーナに

は夢がある」ということだ。違うか。なにせよ、我々の目指す用途としてはびつたりの物件なのである。

念のためにつけ加えておくと、スタッフ3人、というのは間違いない。私のほかに、もう一人社員が広島に移住してくるのである。私に刺さったのは白羽の矢だった、彼女に刺さったのはもつとこう、広瀬香美的な矢だ。狙ったのが誰かなんて。

花まる学習会 橋本一馬



新拠点の外観。どこかに職人が隠れている。

無人島
YouTube
チャンネル
更新中！



カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のモデルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、ブッシュクラフトアドバイザーなど、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。2022年から広島に移住し、無人島開拓に携わっている。ソロキャンプが趣味。



とある花まるの先生が、 わが子の中学受験に直面した

その1 夫婦喧嘩から幕開け——（新5年生1月）

「だから、やるべきことをやらないなら怒っていいけど、S（長男）が理解できないことに對して、いちいち怒らないでよ！Sが勉強を嫌になっただら、どうしてくれるの！」

久しぶりに感情を抑えきれず、食卓をパン叩きながら、激昂して夫に怒鳴る私。

「はあ？何もやらないなら、口を出すな！」
夫も私に怒鳴り返します。

「ああ、そうですか、わかりました。じゃあ受験すると決まったからには、口も手も出さから！だいたいね、多くの子どもにとって、割合や速さの抽象概念は、生活での経験値に結びつかないと難しいの！つまりきやすい範囲なの！私だって小6のとき、この量を①としたときのほにやらう」って問題に、『①ってなんなの、もとにした場合ってなんなの、本当はちゃんと物量あるでしょ！きちんと書いて！って毎回キレていたよ！」

止まらない夫婦喧嘩に、そっと向こうの部屋に消える子どもたち。それを目の端に捉えながらも、ますます口汚くお互いを罵る夫婦…。

たまっていた鬱憤（うつげん）を一通りぶつけ合い、夫婦がボソボソ話す段になって、子どもたちが「終わったー？」

と見計らったように、現れました。その屈託（くつたく）のなさに苦笑しつつ、

「ごめん、ごめん、ちょっとフイーバーしちゃった」

と小声で謝ります。すると長男が

「もうホントだよ！」

とさらっとした一言を返してきました。内心、

あれ、いつの間にかだいぶ心も成長したなあと驚きます。3年生までは本当に幼くて、夫婦喧嘩（げんか）をするたびに傷ついた顔をしていたのに。この感じだと6年生の頃にはギリギリ大人度（自他を客観視できる度合い）も高まるか…。夫への怒りをまだくすぶらせつつ、意識の片隅で考えます。

子どもの成長は本当に早いもので、10歳以降はあつという間に精神的に成長し、親の手元から飛び立ってしまします。中学受験はそんなわが子と同じ方向を向いてどっぶりかわれる最後の機会、と言つ方もいます。まさにわが家も同じです。思春期の空へぼわぼわ飛び立とうとしているわが子の視線を進路に誘導して、もうちょっとだけ一緒に遊んで、とワンチームのスクラムを組む感じがな、とイメージしてみます。

そして、冒頭の夫婦喧嘩（げんか）に戻れば…言うまでもなく、長男の受験は、「子はかすがい」とばかりに、いままで目をそむけがちだった夫婦の関係性の、試金石となる予感に満ち満ちています。次の日、さっそく夫が『二月の勝者―絶対合格の教室―』（ビクコムミックス）を大人買いしてきました。『狂気にガクブル…』と笑い飛ばしながらも、ある程度結果を求めるならば、いままでの夫婦のあり方とは明らかにモードチェンジが必要な気持ちにさせられます。未知の領域に多少おじける気持ち

を認めつつ、『受からなくても死ぬわけだし』と夫婦と家族の第二章をちよつぱり楽しみに思つ気持ちを奮い立たせる私。

さてさて、夫婦関係や親子関係は今後どうなるのか。家族がワンチームになれたとして、七転び八起き、たどり着く先にどんな「幸せな受験」があるのか。そもそもわが家にとつての「幸せな受験」とは…？花まるの教室長といえども、理想通りには到底いかない、とある家庭のリアル中受奮闘記をお届けしていく予定です。

花まる学習会 川波朋子

家族構成

私



東京都内の私立中高一貫女子高出身。花まる学習会 教室長で、過去には花まるグループ進学塾部門スクールFCで小・中学生の英語も教えていた。子どもが産まれてからは事務方まわりの仕事を多くしている。怒りの沸点は、夫より高いと思いたい。

夫



地方の公立高校出身。もともとは中受に批判的だったが、「学校の授業がつまらない」という長男の言葉を真に受け、じゃあ中学受験に挑戦するかと決意した子煩悩な父。在宅勤務が多くなり、以前にも増して子育てに全力投球中。

長男 S



4歳から花まる学習会に通い始めた、マイペースな小学5年生。サマースクール・雪国スクールとともに皆勤、生粋の花まるっ子。現在は中学受験を決意し、スクールFC（シグマTECH）で学ぶ日々。自宅から歩いて通える中高一貫男子校がいったんの第一志望校。理由はいつも通っている習い事の近だから。

次男 Y



保育園児。外面がよい甘えん坊。夫婦喧嘩の次の日、机をパンパン叩きながら兄に喧嘩を売っていたのは、きっとご愛敬…。



おいらが「にぎりすし」の元祖？と兵衛すしだ。さあ、食いねえ食いねえ、すし食いねえ」って売り口上をはりあげると、客が次々に足を止めてさ。「アジ」「タコ」「マグロ」なんて、あれこれ注文するんだ。するつてえと、おとつあんが「ほいきたー」と、すしめしとネタを調子よくにぎって、前さがりの厚板の上におくのさ。

(吉橋通夫「すし食いねえ」講談社より)

徳川家によって幕府が開かれてから、およそ300年近くにわたって続いた江戸時代。近年はその多様な文化や人々の精神性だけでなく、将来にわたる循環型社会のモデルなどの観点からも新たな関心を集めています。そんな江戸の町を舞台にした『すし食いねえ』は、活気あふれる町の情景や「粋」な登場人物たちの義理人情、握り寿司誕生の秘話などが描かれた異色の児童文学です。

主人公は屋台寿司屋の一人息子で、飛びぬけて鋭い味覚センスⅡ「べらぼうな舌」を持つ少年、豆吉。彼は深川の有名寿司店の娘おきよとともに、ひょんなことからある若侍の窮状を救うことに……。物語の終盤では、若侍の訴状を渡すため、勘定奉行のお屋敷で「すしの御前試合」がくり広げられます。

この本は巻末に「握り寿司年表」が掲載されているなど随所に豆知識も盛りだくさんですが、いまや代表的な寿司ネタであるマグロが、当時は見向きもされていなかった

たという史実には驚かされます。赤身魚であるマグロは当時「下魚」とされ、田畑の肥やしにされていたのです。そんなマグロを、豆吉が直感的に寿司ネタに向いていると考え、試しに食べてみるシーンもとても印象的です。

豆吉は、すしめしをおひつからとてぎゅつとにぎり、その上にマグロの赤身をのせ、指で軽くおさえた。ために、食べてみる。「うっ、なんだ、これは？」

今まで口にしたことのない食感と香りと味だ。半日もしょうゆづけしてあるから、赤身でも血のにおいは消えている。でも、どことなく海を思い出させる香りが口の中にひろがる。

やわらかい身をかみしめると、ねっとりとした食感が歯と舌にからみつく。かんで飲みこむと、しつこくない脂のうまみが舌のうえに残る。(中略)

豆吉の「べらぼうな舌」が、しきりにささやく。
「びっくり！ こいつは、まったく新しいすしだ。きつと評判をよび、天下一品と言われるすしになるにちげえねえ。」

「寿(ことぶき)」を「司(つかさどる)」という漢字が当てられていることから、寿司はおめでたい日に食べるものとしてのイメージが定着しています。別れだけでなく新たな出会いも待っている春、定番のちらし寿司だけでなく握り寿司など、おうちでもオリジナリティーあふれるさまざまなお寿司を作ってみてはいかがでしょう？

スクールFC 平沼 純

PICK UP



『すし食いねえ』
吉橋 通夫 著
佐藤 真紀子 絵
(講談社)



スクールFC
平沼 純



recipe

握り寿司

作業時間：30分(づけ込む時間は含まず) 難易度：★☆☆☆☆

レシピ・写真提供：料理家 江口 恵子 (natural food cooking)



材料

炊きたてのごはん…… 2 合分
米酢…………… 60ml
砂糖…………… おさじ 1.5
塩…………… 小さじ 1
まぐろの赤身…………… 約 300g
醤油…………… おおさじ 2
みりん…………… おおさじ 1
わさび、白ごま、刻み海苔…………… 適宜

作り方

- ①米酢、砂糖、塩をよく混ぜておく。
 - ②炊き立てのごはん①をまわしかけ、サックリと切るようにまんべんなく混ぜて、冷ましてすし飯を作っておく。
 - ③耐熱の容器にみりんを入れて 600 w のレンジで 30 秒加熱する。醤油を加え、食べやすい大きさにそぎ切りにしたまぐろの赤身を漬けておく。(目安：30 分～1 時間)。
 - ④②を一口サイズ程度の量を片手で軽く握って小さい俵状にし、両手で形を整える。このとき、おにぎりを作るように「ぎゅつ」と力はいれず、口に入れたら「ほろり」とくずれるくらい優しく握るのが、おいしさの秘訣。
 - ⑤④のごはんの上に③のまぐろをのせる。お好みで、大人はわさび、子どもは白ごま、刻みのみなどをのせる。
- * づけにすると生臭さが消えてうま味が増すため、お刺身や生魚が苦手な子どもでも食べやすいようです。まぐろのほかに、はまちやかんぱち、かつお、サーモンなど、淡泊なお魚より、脂が乗っている魚、赤身の魚のほうがおいしく感じますよ。



米田 晴香・おこめ | 中高一貫の母校が多大な影響を与えてくれたと語る、真面目な人柄。どの先生に質問しても熱量がすごくて、「今日はどんな質問をしようかな」と考えながら通学していたとのこと。6 年間吹奏楽部でバストロンボーンにのめり込みました。小さい頃に始めた書道もずっと大好きで、いまも月に一度は書いています。



『やしゃじんがわ
『夜叉神川』』
安東 みきえ 著
田中 千智 装画
(講談社)

2022 年日本児童文学者協会賞。『夕暮れ

のマグノリア』『頭のうちどころが悪かった熊の話』など独特な世界観のある作品で有名な著者による、幻想的でミステリアスな連作短編集。さまざまな登場人物が夜叉神川の周辺で体験する不思議な出来事を通して、誰の心にもある闇や悪意、優しさ、温かさなどが描かれます。沖縄を舞台にした最終話「果ての浜」は、戦時下の知られざる出来事を描いた一読忘れがたい話。



『ある晴れた夏の朝』
小手鞠 るい 著
タムラ フミコ イラスト
(偕成社)

2019 年小学館児童出版文化賞。日系アメリカ人のメイは夏休みに友人に誘われ、広島・長崎に落とされた原爆の是非をディベート

することに。真珠湾攻撃、日中戦争、ナチズム、人種差別……。さまざまなバックグラウンドを持つ 8 人のアメリカ人高校生たちが、唯一絶対の答えがない問いを考え抜く姿の描写が見事で、特に広島平和記念公園にある慰霊碑をめぐるクライマックスの対話シーンは非常に印象的。現代の視点から戦争の本質を問いつける、新たな傑作の誕生に拍手を送ります。



『朔と新』
いとう みく 著
こゝろ 出版
(講談社)

2020 年野間児童文芸賞。高速バスの横転事故で視力を失った兄の朔と、自責の念を抱える弟の新。中学時代は長距離走者として活躍していた新は、ある日突然「ブラインドマラソンの伴走者になってほしい」という朔の願いを聞きますが……。障がい者ランナーと伴走者をつなぐロープは、「きずな」と呼ばれています。きょうだいの絆や家族の絆、痛みを抱えながらも前に進む主人公たちからきつと希望をもらえる物語。2021 年中学入試でも多くの学校で出題されました。



平沼 純の

Vol.43

～近年の児童文学賞受賞作より～



『さくらの谷』
とみやす ようこ 著
まつなり まりこ 絵
松成 真理子 絵
(偕成社)

2021 年講談社絵本賞。ひとり山を歩く私がたどり着いた、桜の花にうもれた不思議な谷。そこで見たのは、楽しそうに花見をする鬼たちと、もう会えないと思っていたなつかしい人々。「そうか、みんなここにいたのか」。作者がご自身のお父さまとの別れの日に見たという、不思議な夢から生まれた物語。魂が集う桜の谷の情景が、どこまでも温かい。



『大根はエライ』
くすみ 昌之 著
久住 昌之 文・絵
(福音館書店)

2018 年日本絵本賞。生で食べても、煮ても薬味にしてもおいしい大根。その魅力や、思わず「へー!」と言ってしまふような豆知識の数々を、ユーモアたっぷりな語り口とイラストで紹介した異色の絵本。まるで大根に「派手に生きるだけが人生じゃないぜ!」と言われていたかのような、不思議な魅力にあふれた一冊です。作者は、人気ドラマ『孤独のグルメ』原作者としても有名な久住昌之氏。



平沼 純「旅する読書 ～大人のための読書講座～」
2023年度の講座は 4 月から開講予定!

詳細は決まり次第 HP にてお知らせします。乞うご期待!

詳細はこちら ▶ <https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/>





グスターヴ・ホルスト

1874～1934 イギリス

アノネ ラウンジ Lounge

vol.43

アノネ音楽教室の作曲家の人生を辿る伝記教材『オペラ』の一部をご紹介します！クラシック音楽の作曲家を毎回一人取り上げて、名曲が生まれたストーリーに迫ります！



ホルスト

1920年、『惑星』という曲が発表されました。火星、金星、水星、木星、土星、天王星、海王星の7つの星をタイトルにしたこの組曲は、人々から拍手喝采で迎えられます。けれども、作曲した本人は、戸惑いながら苦しいしていました。「もっと聴いてほしい作品はたくさんあるんだが…」曲を作った人の名は、グスターヴ・ホルスト。自分の作りたい曲を生み出し続けた、勉強好きな作曲家です。

ホルストは、1874年9月21日、イギリスのチェルトナムという街で生まれました。お父さんは教会のオルガニストで、お母さんはピアニスト。ホルストは、幼い頃から厳しいピアノのレッスンを受けて育ちます。ピアノの練習に集中するようにと言われていたホルストでしたが、こっそり本を読んで勉強を始め、自分で作曲に挑戦するようになります。

23歳で音楽院を卒業したホルストは、楽団で6年間働いたあと、音楽の先生になりました。女性のための学校、女学校の先生です。「誰もが教育を受けられる世の中になりたい」ホルストは、そう考えて熱心に教えたので、生徒を大切に先生として評判でした。こうして、学校で音楽の先生をしながら、空いた時間に作曲をする生活が始まります。27歳のときに結婚した歌手のイザベラとの間に女の子も授かり、ホルストはやる気にあふれていました。

ホルストは、何かに興味を持つとことん勉強し尽くす人でした。

この頃ホルストが夢中になっていたのは、インドで使われている言葉や、星の位置で未来を占う「占星術」でした。「ヨーロッパの古い神様と占星術はつながっている…」学んだことを音楽に活かして生み出されたのが、組曲『惑星』です。

7つの曲は、星そのもののイメージではなく、星の名前を持つ神様の話から生まれたものでした。トロンボーンを演奏するホルストらしく、管楽器が大活躍する新鮮な響き、耳と心に残るメロディーは人々の心をとらえました。

組曲『惑星』

Op.32 より《木星、快楽をもたらす者》(1914-1916年)

『惑星』を発表したあと、忙しくしていたホルストですが、体を休めるために発表の場に出なくなると、人気は次第になくなっていきます。

「これでやっと自分の作りたい曲が作れる」

ホルストは、悲しむどころか安心して、先生をしながら作曲に没頭する暮らしに戻りました。人々の評判ではなく、自分の音楽を追い求め続けていたのです。

59歳でこの世を去ったホルスト。よき先生でもあり、たくさんの生徒が演奏で活躍できるようにと、曲を編曲し直すこともあったといえます。成長したひとり娘のイモージェンは、ホルストと同じように作曲家、指揮者として活躍しました。音楽教育に情熱を注いだホルストにとって、最高の作品はイモージェンや教え子たちだったのかもしれない。

聴いてみよう
組曲『惑星』を



編集：佐藤 泉純 (アノネ音楽教室)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL7kd0pC6w0ucOxb6xRttYKkPlsuzaIWxRO>

佐藤 達也・たつー | 趣味がボルダリングで、背中の筋肉は隆々ですが、元々陸上アスリート。100mも11秒前半だし、400m 競技の選手として、都大会などに出ていました。アルバイトで入ったサマースクールの班リーダーとして最初の表彰式で号泣。ハマりました。私が「班リーダーは最高だよ」と言ったら、「はい！」と破顔一笑でした。

こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

44

「他者から求められるもの」よりも
— “じゆう” とは —

はじめての空間で、まわりの雰囲気を全身で感じ続けていたのでしょう。創作の時間が始まり、絵の具を前にして筆を持ち、それでも、彼はただじっと、仲間の様子を観察していました。

想像していたよりもずっと長い時間が過ぎました。ほかの子どもたちは、すでに自分の世界に没頭しています。

私はそっと彼の後ろにまわり、彼の手を持ち、すでに彼の手によって出されていた絵の具に、筆をそっと近づけました。いっしょに筆につけた絵の具を、そっと塗ってみせると、彼の意識が急に集中するのを感じました。

彼の口から「つくりたい」という言葉が出たことに、お母さんはびっくりされていました。

小学校の図工の時間、彼は紙粘土を前にして、いつまでもとりかかれずに泣いていましたそうです。運動会の絵を描くときも、真っ白な画用紙を前にして、やっぱり泣いていましたそうです。

ただ、アサガオの葉の観察は、色づかいても綺麗に描いていたのを見ていたお母さんは、「本人は図工に苦手意識があるようだ。でももしかしたら、色をつかうワークシヨップだったら、楽しくできるのではないだろうか？」と思い切って参加してくれました。

それまで身体中で感じ取っていた、この空間の「じゆうにやってよいのだ」ということの意味。「やらねばならないなにか」でも「先生の求める正解」でもない、「自分がやりたいことを表現する」ということとは何なのか。「誰もが思うようにやって感じたことを話し、それらはすべて同じように尊いものとして受け止められるものなのだ」という事実。

それらが、一瞬にして、彼の腕に落ちた瞬間でした。

「他者から求められるもの」に敏感で、繊細な子どもたちにとっては、図工の時間という、評価や正解を求められる場では、

自らを表現するために思い描くイメージや、こうやりたいという思いがあったとしても、どちらを優先したいのかわからなくなる、ということとはよく起こります。

「本当に、じゆうにしたいの?」と目を輝かせて、狂喜乱舞することで、その喜びを表現する子もいれば、彼のように、これから安堵のため息とともに、身体中で、それまで彼を縛っていたなにかから解かれる子もいるのです。

人は本来、自分という人生を自分らしく作っていくアーティストです。どの子も自分の持っているタネを、そのまま花咲かせていけるように。来年度も見守っていきたいと思います。

Rin (井岡 由美)

Rin先生の アトリエラヂオ Season2

川の視点で
子育てを考える



アトリエラヂオでは、ありのままの子どもをどう見守っていけばよいのか、保護者の方の質問・相談にARTの視点でお答えしています。



Atelier for KIDs

全国から
参加可能!

4/16(日) 10:30 ~ 12:00 ハサミで描こう切り紙アート

参加費 対面 2,800 円 / オンライン 3,100 円 (税込・材料郵送費込)
対象 年長 ~ 中学生
定員 対面 (お茶の水花まるラウンジにて) 20 名 / オンライン 8 名
(ハイブリッド開催)

申込締切 3/29 (水) 19:00 <https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



Rin (井岡 由実)

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会・中年長向け教材開発に携わり、冊子『1 年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばす AI 時代の子育て』(実務教育出版) ほか。

Rin 先生の SNS
ART のとびら YouTube など
すべてのリンクは
こちらから ▶



一つの音

私の好きな作曲家の一人にアントニオ・カルロス・ジョビンがいます。「イパネマの娘」の作者と言ったほうがピンとくる人も多いかもしれません。彼が亡くなったからすでに三十年近い年月が経っていますが、こんなにでもテレビやラジオ、喫茶店やスーパーマーケットのBGMとして彼の作品は日常に溶けこんでいます。あまりにもいろいろな場面で流れているので、彼の音楽に遭遇しないように一日を過ごすことのほうが難しいくらいです。そんなジョビンの作品に「ワン・ノット・サンバ」という曲があります。メロディーは繰り返される同じ一つの音（ワン・ノット）。しかし和音が変わっていくので、それぞれの和音の上で響きが違って聞こえるのです。同じ音がさまざまな色を見せる、魅力にあふれた作品です。

私のクラスに在籍する三年生の女の子は古典教材の「たんぼぼ」が大好きです。『枕草子』や『おくのほそ道』など、月ごとに扱う作品は変わりますが、月の初めには完全に暗唱できていて、みんなの前で披露してくれます。月の初めということとは、まだ授業では扱っていないのに覚えているということです。努力なしでは、それはなし得ません。彼女が並々ならぬ

情熱を持って古典作品に挑んでいることは明白でした。

なぜそんなに頑張ることができるのでしょうか。あるとき、彼女に聞いてみました。彼女は二つの理由をあげました。「自分で練習して、できるようになったときにとても嬉しい」「クラスのみんなの前で披露したときに、みんなが拍手してくれることが嬉しい」ということでした。

嬉しそうにその秘訣を話す彼女の言葉を聞いて、「この子はもう大丈夫だ、どこでもやっていける」と思いました。自分自身を信じることで、周囲の人々を信頼すること

が、この歳ですでにできているからです。彼女自身がどんな状況でも揺らぐことのない一つの音となり、それが周囲との関係によって美しく響くことを、彼女は経験としてわかっていたのです。

教育の世界では個々の能力についての話が多くなりがちです。私自身も「この子のこの力が光っている」「この力を伸ばせば、もっと大きく成長できる」と言うこともあります。それも間違いではないのでしょうか、あくまで個人の力の話です。個人の能力と同様に大事なのが、他



から。

者との「関係」です。周囲の人々の存在によって、その子の持つ力の輝き方もまた変わってくるのです。

これは何も「みんなとなかよくやっていこう」ということを言いたいわけではありません。子どもたちの持つ個性は本当に人それぞれで、ときには周囲とうまくやっていくのが難しいということもあるでしょう。私はそれでいい、と思います。

どんな場合であっても、そこに存在する以上、周囲との関係は発生しています。その関係が不協和音を発生させるものであっても、それもまた一つの響きなのです。

人類は不快とされる響ききも、音楽の一部として受け入れてきたのです。人との関係のなかから。

人と人が出会うことで生じる響きが、どんな響きであれ、大事なものは他者に敬意を持てることだと思っています。私が集団での教育に携わっている理由もそこにあります。子どもたちの能力を磨き「一人勝ち」させたいのではないのです。教室でも野外体験でも多くの人がかかわる環境で、「自分は人とかかわって生きているのだ」と知ってほしいのです。人生、山あり谷ありです。周囲との関

係にもときには不協和音が生じてしまうこともあるでしょう。しかし人間は美しい音程だけを求めて生きているわけではありません。協和音であるドミソだけ鳴らし続けても、音楽は進みません。違う音が入ってくることによって響きが変わり、音楽が動き出すのです。人生も同じでドミソだけの人生では、おもしろみを感じることが難しいでしょう。

成長というのは、自分自身の一つの音に向かっていくことなのかもしれません。どんな個性のどんな音であれ、その音はまわりの音との関係で響きが変わっていきます。同時に自分の音は、ほかの人の音の響きも変化させる力を持っています。さきほどの女の子も、入会直後にほかの子が「たんぼぼ」の暗唱をしているのを見て、影響を受けたと言っていました。人との関係のなかで生じる美しい響きや、せつない響き、ほろろしい響きに、不快な響き…そしてまた美しい響きへ。それを繰り返して、人生は音楽のように続いていきます。

花まるの学習会 山崎 隆



山崎 隆 Yamazaki Takashi

東京東ブロック教室長。千葉県の内陸部出身。2歳上の姉と3歳下の弟と、だだっぴろい関東平野の片隅で育つ。小さい頃、外遊びはもちろんだが室内で遊ぶのも好きで、図鑑を開いては恐竜のいる世界を想像していた。高学年の頃より伝記を通して歴史に親しむ。休みの日には、青春18きっぷで目的もなく出かけることを楽しみにしている。

200mの一人旅

駆け出しの頃、担当していた教室へ、二か月後に一年生になる甘えん坊で気ままな男の子が来るようになりました。三月、お母さまから「事前にいろいろとお話をしたい」と相談を受け、一時間にわたる面談をしました。

彼は予定日より三か月早く8289で生まれ、脳性まひを患っていました。脳性まひは、主として運動機能に障がいが見られるものですが、さまざまな障がいを合併しやすいものでもあります。彼の場合は、左半身の発達に遅れが見られるほか、精神遅滞・学習障がいがありました。「うちの子やっいていけるかなあ」と心配される言葉とは裏腹に、お母さまは常に温かい微笑みを浮かべお話しされていたことをいまでも鮮明に覚えています。

期待に応えたい、そう意気込んで臨んだ私の出鼻は初日に挫かれました。教室にある物を次々と床へばら撒き遊ぶ彼。「時間になったからやるよー」「いやだ、やりたくない」というやり取りは数知れず。何とか遊びから離してテキストにこぎつけても、ものの数分で「せんせいやって、ばくできない」と言って離脱。そんな彼の手を引いて、一歩だけでいいから一緒に前

へ、そんな伴走が一年ほど続きました。

二年生の夏、ご家庭である取り組みを始めたことを知りました。「寝る前に『今日の反省』と題して一日を振り返り、一番楽しかったことを私に報告してもらうんです。そのあと、私から見て良かったこと、たとえば挨拶を元気にしたね、とか、靴を揃えたね、とか、そういうことを3つ伝えていきます！」これを始められてすぐに教室で大きな変化が見られました。ネガティブな言動が影を潜め、「じぶんでできる!」「じぶんでやりたい!」と言うことが多くなりました。かと言って自力では難しい。そんな彼の意志を叶えられるように体を支え、ヒントを出すなどのサポートをする、それが伴走者の役目になっていきました。

三年生になるときに私は異動となり、彼を教室で見ることとはなくなりましたが、その後は一年に一回、サマースクールで一緒にいました。そこでは彼専属のリーダーがつき、種々の活動を手助けする場面がありつつも、順調に成長をしていた彼は歳を重ねるごとに自力でやれることが増えていました。それでも時折、懐かしい一面が出ることもありました。彼が参加した最後のサマースクー

花まるコラム

2023年3月

ル。川で遊んだあとで宿へ歩いて移動しているとき、「つかれた、もうあるきたくない!」と言って地面にしゃがみこみました。「この感じ、なつかしいなあ」と思いながら、久しぶりに手を引いて一緒に歩きました。それが花まる学習会で彼と直接かかった、最後の思い出でした。

ときは流れ、2021年。中学一年生になった彼が東京オリンピックの聖火ランナーに応募をして選ばれた、という嬉しいニュースが飛び込んできました。「小さく生まれただ赤ちゃんのお父さん、お母さんにも大丈夫だよと伝えたいし、生きているって素晴らしいんだよとみんなに伝えたい」そんな想いで応募をしたそうです。一年の延期を経て出走場所が決まり、彼は中心市街地の四車線もある大通りを200m走ることに。当日、現地に足を運ぶとその道路脇には人だかりができていました。まるで箱根駅伝かのように。定刻になると、数十メートル先のスタート地点に、聖火が灯されたトーチとともに彼の姿が現れました。コロナ禍とあって声を出しての応援は禁止。辛うじて声が出るのを抑えましたが、心なかでは「うおおおお!」と叫んでいまし

た。走り出すとあつという間に目の前を通過。拍手が鳴り響く広大な道路のど真ん中にある彼の後ろ姿が、小さくなると同時に涙で霞んでいきました。七年前「せんせいやって」「いやだ、できない!」と、ことあるごとに言っていた彼が、三年前「あった彼が、いま、大観衆が見つめるなか、間違ひなく何の支えも必要とせず、想いを込めて自分の意志で自走しているのだと。」

「うちの子は自分が普通だと思っているんです。だから私も特別なことをせず、この子のペースで変わるのを信じて待つだけなんです」

七年前と変わらない微笑みを浮かべそう言う母親の元へ、200mの一人旅を終えた彼は、凜々しい少年となり帰ってきました。

花まる学習会 神原悠司



はな きょうしつちょう しょうかい
花まるの教室長を紹介します！

花まるファミリー

FC …スクールFC

…アノネ音楽教室

アルゴ …アルゴクラブ

…オンライン

…無人島

Flos …フロス

きょうしつちょう じゅんばん しょうかい
みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！



いしかわ ゆうま
石川 裕真

中京

愛知県



うすき まさひこ
臼杵 允彦

東京西

福岡県



きたざわ ゆうた
北澤 優太

東京東

愛知県



このさき しのぶ
此崎 忍

埼玉

東京都



すがわら ただし
菅原 忠

関西

埼玉県



たかはま まさのぶ
高濱 正伸

熊本県



な なみ なおみち
名波 直道

埼玉

静岡県



は せ が わ ようすけ
長谷川 陽介

神奈川県南

神奈川県



もとよし はるこ
元吉 遼子

東京南

山梨県



たかはま まさのぶ
高濱 正伸

〇〇〇

熊本県

リーダーネーム

名前

所属

出身地

ゆさく
サマースクールや雪国スクールで会おうね！

がつ たんじょうか
3月の誕生花は チューリップ



古館千代美・政宗！スクールFCでも教える「歴女」。推しメンは源義経で、一番好きな城は駿府城。史跡巡りが趣味で、お城の石垣の組み方などを熱心に見まわります。「偉人のキャラクターは、実は、江戸の物語師達を変えたんですよ」と教えてくれました。授業が幸せて、子どもが「昨日〇〇したんだよ」と報告する姿に心溶ける毎日なのです。